

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東

雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.23

令和7年12月4日(木)

文責: 校長 園田栄作

人権について理解を深めた人権集会

～【人権週間】12月4日(木)～10日(水)～

3日(水)に、小中学校合同で人権集会を行いました。「人権意識を高め、他者との違いを認め合い、支えあう関係を作る」ことを目的として行いました。集会では、主に2つの活動と全体合唱を行いました。活動の1つ目の「誰のトリセツ?」では、友達の好きなこと、苦手なことなどが書かれたトリセツ(取扱説明書)をクイズ形式で発表し、誰のトリセツなのかを当てる活動です。一つ一つのヒントに身を乗り出して聞き、班のメンバーの誰のことなのかを一生懸命考えていました。「へー」と、意外なことを知れたり、「やっぱり」と確信したりして、友達のことについて理解が深まりました。友達のことを知ることで、一人一人が違うことを改めて感じたようでした。活動の2つ目は「度島人権かるた」を行いました。中学生が作ってくれた人権に関するかるたを小学生がする方法で行い、人権についての理解が深まりました。全体合唱では、「手をつなごう-共に生きる-」を歌いました。「仲間がそばにいる」「手をつないで共に生きよう」と感じられる、心がとても温かくなる歌です。一緒に歌うことで、つながりがさらに強くなりました。

最後に、私から「気遣い」について、話をしました。一人一人の違いを認め、相手の立場に立って尊重することが大切であること。「特別なことをしなければ」と難しく考えるのではなく、ちょっと相手のことを気掛ける「気遣い」が、とても嬉しいことであることを話しました。「気遣い」の輪で、みんなの笑顔が広がることを願っています。

4日(木)～10日(水)の1週間は、人権週間です。今年のキャンペーンテーマは、「人を想う、その力が未来をつくる。」です。今回の人権集会での取組をきっかけとして、周りに目を向け人権について考える期間にしてほしいと思います。子どもたちは、学年が上がるにつれて、身近な友達や家族だけでなく、多方面に交流の幅が広がっていきます。また、インターネットの普及により知らない人との関わりも出てくるかも知れません。物事をしっかりと見極め、正しい判断、正しい行動がとれるように導いていかなければなりません。確かな心は、特別なところでできるのではなく、身近な日々の関わりにあると思います。



税金について学んだ租税教室 ～ 税金のおかげで暮らしが成り立っている！ ～

2日（火）に、市役所の税務課から○○さんと○○さんに来ていただき、中学生が租税について学習を行いました。生徒は、身近なところの消費税のことや税金で警察や消防などの公的な仕事が行われていることは知っているものの、学校や度島交流会館の建設にたくさんの税金が使われて建てられていることを初めて知り、驚いていました。また、税金のある世界と税金のない世界のビデオを観てからは、大きな違いを感じ、税金のありがたさを実感したようでした。生徒は、税金が生活に密着していることもあり、興味を示し積極的に意見や感想を述べていました。もう数年もすると、自分で働いた収入から納税をしていくことになります。納税と合わせ、一社会人としてよりよい税金の活用方法についても考えてくされることを期待しています。



調理員の○○○○さんが店長賞を受賞されました！

11月28日（金）に、度島小中学校にある調理場の主任の○○○○さんがハーベストネクスト株式会社様から、店長賞を受賞されました。調理員さんの主任として、チームワークを発揮され、安全でおいしい給食の調理に御尽力された成果を認められたものと、今回の受賞を職員一同で喜びました。毎日の献立が違うため、食材も調理法も日替わりであるだけでなく、天候によっては食材そのものが届くかどうかの心配が絶えない職務であります。そのような状況にもかかわらず、いつも笑顔で子どもたちや職員のためにおいしい給食を提供してくださっています。子どもたちがやる気を持って学べ、職員が元気に指導できるのは、おいしい給食の力が大きいです。日頃の調理に感謝すると共に、これからも身体に留意し、御活躍されますことを祈念申し上げます。

